

市議会  
定例会

一般会計予算総額は97億7千972万1千円

多久市議会9月定例会が9月28日から10月16日までの19日間の会期で開かれ、28議案等について審議されました。主なものは次のとおりです。

▼市長及び副市長の諸給与条例及び多久市教育長の諸給与条例の一部を改正する条例

厳しい財政状況にあるため、平成15年度から続けてきた市長、副市長および教育長の給料の減額をさらに平成22年3月31日まで延長します。市長は5%、副市長は4%、教育長は3%をそれぞれ減額します。

▼平成21年度一般会計補正予算(第4号)

補正予算の主なものは、7月24日から26日に起きた集中豪雨により被害を受けた農林業施設・公共土木施設の復旧事業の経費、市道4路線の道路舗装工事費、障害者の通所サ―ビスの利用促進のため事業所の送迎事業に対する助成、緊急雇用創出事業などです。

このため歳入歳出予算にそれぞれ3億1千941万8千円が追加されました。

▼平成20年度一般会計歳入歳出決算の認定

予算総額は歳入歳出が102億8千695万3千円で、その決算は歳入97億5千374万2千339円、歳出93億7千407万154円、歳入歳出差し引き額は3億7千967万2千185円の黒字決算となり、翌年度への繰越となっています。

▼多久市副市長の選任について

藤田和彦副市長の再任案については、不同意となりました。

▼多久市教育委員会委員の

任命について

中川正博氏が議会の同意を得て再任されました。

▼多久市監査委員の選任について

10月12日に任期満了で退任された松尾紀久江氏の後任に、柴田藤男氏(東多久町羽佐間)が議会の同意を得て選任されました。



柴田藤男 委員

消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子(平成21年度全国統一標語)  
11月9日～15日は秋季全国火災予防運動

今年も秋季全国火災予防運動が実施されます。これから火災のおこりやすい時季になるため、火災の発生を未然に防止し、火災における死者を減少させることが火災予防運動の目的です。

近年は5年連続で、住宅火災による死者が1,000人を超えています。住宅火災による死者を減らす「切り札」の住宅用火災警報器を設置して、一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりを実現しましょう。

火災予防ポスター入賞者の  
作品展示のご案内

多久消防署では市内小・中学校の児童生徒を対象に、火災予防ポスターを募集しました。

次のとおり入賞作品の展示を行いますので、ぜひご覧ください。

日時 11月9日(月)～11月15日(日)  
会場 多久市中央公民館

○平成21年の多久市内の火災発生状況

建物火災5件、林野火災1件、車両火災1件、その他火災4件合計11件の火災が起っています。(9月30日現在)

○「住宅防火いのちを守る7つのポイント」

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

■問い合わせ 多久消防署 予防指導課  
☎75-2191